

授業 科目名	【G】	商法(手形法・小切手法) I	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【H】	商法(手形法・小切手法) I			【H】3		【H】2
	【I】	商法(手形法・小切手法) I	その他参照		【I】3		【I】2
科目区分	専門科目						
授業形態	オンライン開講						
担当形態	単 独						
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブ タイトル	手形・小切手法の基礎を学ぶ				担当者	及川 知宙	
授業概要	【概要】	手形・小切手は実務上多く取り扱われているものではあるものの、学生のうちに触れる機会は非常に少ない。そこで、手形・小切手法の学習を通じて、手形・小切手がどのようなものか理解する。 本講義では、手形・小切手法総論、手形行為総論、約束手形を概説する。					
	【到達目標】	手形・小切手がどのようなものかを理解し、手形・小切手法の基本的な考え方を習得する。					
履修条件	特になし。						
ディプロマ・ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)					
他科目との 関連性	「商法概論」及び「民法概論」の内容を理解しておくことが望ましい。						
教科書	早川徹著『手形・小切手法 第2版』(2018年 新世社)						
参考書	特になし。						
評価方法	講義内容の理解度を見るため事後課題及び学習到達度確認テスト(3回)で評価します。 評価の配分割合：事後課題40%、学習到達度確認テスト60%。						
フィードバック 方法	事後課題の解説及び学習到達度確認テストの講評を行う。 履修者からの質問はメール等の手段により随時受け付ける。						
評価基準	各回の授業内容につき、これを十分に理解した者はS評価、理解した者はA評価、概ね理解した者はB評価、最低限の理解をした者はC、理解が不十分な者はD評価とする。とする。各回の授業内容についての理解が不十分な者は、その程度に応じてD評価またはE評価とする。評価不能の場合にはF評価とする。						
その他	特になし。 ※G加:選択						

授業 科目名	【G】	商法（手形法・小切手法） I	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【H】	商法（手形法・小切手法） I			【H】3		【H】2
	【I】	商法（手形法・小切手法） I	その他参照		【I】3		【I】2
授業回数	授業内容						
1	手形・小切手の意義・法的構造						
	予習： 手形・小切手の意義・法的構造(3頁から9頁)(90分)			復習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)			
2	手形・小切手の経済的機能と銀行取引						
	予習： 手形・小切手の経済的機能と銀行取引(10頁から20頁)(90分)			復習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)			
3	有価証券						
	予習： 有価証券(21頁から33頁)(90分)			復習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)			
4	手形行為の意義と特性						
	予習： 手形行為の意義と特性(37頁から45頁)(90分)			復習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)			
5	手形行為の成立要件						
	予習： 手形行為の成立要件(46頁から54頁)(90分)			復習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)			
6	手形行為の有効要件						
	予習： 手形行為の有効要件(55頁から64頁)(90分)			復習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)			
7	第1回学習到達度確認テスト及び解説						
	予習： 第1回から第6回までの復習(90分)			復習： テスト範囲及び解説の徹底確認(90分)			
8	他人による手形行為						
	予習： 他人による手形行為(65頁から69頁)(90分)			復習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)			
9	無権代理と偽造(1)						
	予習： 無権代理と偽造(70頁から74頁)(90分)			復習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)			
10	無権代理と偽造(2)						
	予習： 他人による手形行為(75頁から82頁)(90分)			復習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)			
11	第2回学習到達度確認テスト及び解説						
	予習： 第8回から第10回までの復習(90分)			復習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)			
12	振出						
	予習： 振出(85頁から99頁)(90分)			復習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)			
13	白地手形・手形の変造(1)						
	予習： 白地手形の意義・補充権(100頁から107頁)(90分)			復習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)			
14	白地手形・手形の変造(2)						
	予習： 白地手形の流通と権利行使(108頁から113頁)(90分)			復習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)			
15	第3回学習到達度確認テスト及び解説						
	予習： 第12回から第14回までの復習(90分)			復習： テスト範囲及び解説の徹底確認(90分)			
その他	特になし						